

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月20日		記入者		内線	5223
部 名	生涯学習部	課 名	生涯学習課文化財保護室	課長名	大貫英明	
事務事業名	文化財保護審議会経費					
予算上の事務事業名	文化財保護審議会事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	16220		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第6章 彩りのある市民文化を創造します					
基本施策名	第2節 郷土意識づくりの推進				事業開始年度	
施 策 名	第2施策 文化財の保存と活用				平成12年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市文化財の保存及び活用に関する条例					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	審議会・委員会・協議会 ▼					
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)					
文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて、市内の文化財の指定及び登録について調査・審議を行いその結果について答申を行う。				文化財保護審議会		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
平成16年6月21日 会場：橋本公民館 出席者：8人(傍聴者0人) 内容：新たな指定及び登録文化財候補について						
平成16年8月24日 会場：下九沢西孤芭蕉句碑(八坂神社境内)ほか9箇所 出席者：10人 内容：新たな指定及び登録文化財候補の現地調査						
平成16年12月20日 会場：橋本公民館 出席者：8人(傍聴者0人) 内容：委嘱状の交付、正・副会長の選出について 新たな文化財の指定及び登録に係わる教育委員会からの諮問について						
平成17年1月27日 会場：橋本公民館 出席者：8人(傍聴者0人) 内容：相模原市文化財の指定及び登録に係わる教育委員会からの諮問に対する答申について						
6 関連・類似事業や他市の状況	国、県、市町村は、法または条例に従い、文化財であるもののうち歴史や文化にかかる重要なもの、保存と活用を図る必要があるものを指定または登録文化財とするため、文化財保護審議会等に対し諮問をし答申を受けている。					
7 事業費の推移	[単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	396	491	413	539	539	
一般財源	396	491	413	539	539	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	4,195	4,005	4,035	4,035	4,035	
事業コスト合計(a)	4,591	4,496	4,448	4,574	4,574	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	文化財保護審議会の開催及び現地調査に関わる経費			対象名称 (単位)	開催及び調査日数(日)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	396	491	413	539	539	
対象数	4	4	4	4	4	
単位あたり経費(円)	99,000	122,750	103,250	134,750	134,750	
前年度比		1.24	0.84	1.31	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	審議件数（件）	指標式と指標の説明		答申件数 / 諮問件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	1.0	1.0	1.0		
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	審議件数（件）	指標式と指標の説明		答申件数 / 諮問件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	1.0	1.0	1.0		
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		妥当性と効率性については当然の評価であるが、今後「郷土意識づくり」の視点で文化財保護戦略の諮問を検討し、有効性を高めていきたい。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
地域の歴史や文化を後世に伝えるため、文化財の指定・登録にかかる審議・調査を行うとともに、市民等の意見を取り入れながら、地域に根ざした文化財の保存及び活用のあり方の論議を踏まえた取り組みを行う。			文化財保護審議会は指定・登録文化財の調査・審議が中心であったことから、今後は、合併に伴う広域的な文化財の保存及び活用のあり方を踏まえた審議を行う必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		効果的な事業実施を推進する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			